

FＭアップルウェーブ 第114回放送番組審議会

開催日時	平成31年2月23日(火) 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)
出席委員	委員長 石岡 徹、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、渋谷 拓弥、大西 晶子、櫻山 史子、佐々木 裕和、鹿内 あかり
会社側出席者	専務取締役：一戸勝美、 放送部統括マネージャー：花田由香子、チーフ：玉田 雅規
議題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 2月23日(土)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 『プロから学ぼう、不動産における終活』</p> <p>① 終活に関して遠い将来の話かと思ったが、自分の両親や祖父母の相続にあてはめて考えられるので身近な問題だと思った。専門用語についてもゆっくり説明していたり、かみ砕いて説明していたのでわかりやすかった。例え話の条件が細かすぎて伝わらない。</p> <p>② 「不動産における終活」について第1回目では詳しく説明していたが、2回目以降も簡単にでも説明があったほうが1回目を聞き逃した人に伝わるのでは。「不動産のプロ」とは何をさすのか、どんな資格がある人を意味するのかを明確にしてほしかった。</p> <p>③ 大川さんの声・話し方がとても聞きやすかった。ひとつひとつわかりやすいが、コーナーとしては詰め込みすぎに感じた。伝える事を絞って丁寧に紹介し、繰り返し教えて頂きたい内容だった。今後、不動産だけでなく「動産」についてのプロからの相続などの話を紹介する番組もあればよい。</p> <p>④ 事例紹介で、家族構成等を理解するまでに時間を要する。登場人物(機関)なども多いのでラジオでの聴覚だけでは難しい。終活とはだれもが通る道であるので、ひとつひとつを膨らませて紹介すればよいのでは。</p> <p>⑤ 勉強になる番組。BGMやジングルなどが番組の雰囲気合っている。15分間の番組だが、詰め込みすぎではないか。繰り返し放送していくか、時間を長くするかなどの改善をすればもっと聞きやすくなるのでは。</p> <p>⑥ 毎回テーマにおいて課題となる部分とその回答、という形をとればよいのでは。「〇活」という言葉が多用されてきているが、「終活」という言葉を毎回説明するべきでは。税金や相続などの法律に関してはほかに専門家がいないのではないかと。そうであればそれらにふさわしい専門家を紹介すべき。</p> <p>⑦ どういった資格を持つ人が「不動産のプロ」と言えるのか、大川さん紹介の際に立場・資格等も公表したほうが良い。大人として不動産はじめ相続ということをしっかり学んでおくべきだと感じた。</p> <p>⑧ 身近な問題として興味を持って聴いていた。内容としてはもう少し長くてもよいが、もっと具体的な問題と解決方法を紹介してほしい。遺言書があっても裁判になることがある。内容として年配の方も聴いていると思うので、大川さんのゆっくりとした話し方は聞きやすい。相続に関してもっと様々な視点から学べる番組があればよい。</p> <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <p>1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載</p>